

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における 「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについて

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部

- 1 ベンチマナーの観点により、現在まで団扇の使用を禁止してきた経緯がある。しかし、現在熱中症対策が必要不可欠な課題である。そのため熱中症予防の観点から、(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部が主催する大会で「熱中症対策としての団扇使用」を採用する場合、次のように取り扱うこととする。
 - ① 使用は、セット間・タイムアウト・給水タイムアウトのみとする。
 - ② 使用場所は、アップゾーンやベンチ周辺とする。
 - ③ 団扇の数には制限はないが、チームスタッフ及びリザーブ選手が保持することなく、ベンチもしくはアップゾーンで保管すること。
 - ④ 団扇の大きさには規定を設けないが、極端に大きなものは使用しない。
 - ⑤ 団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。※ ①～⑤は、チームスタッフ及びリザーブ選手にも適応する。

各ブロック・各都道府県大会等で、開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合において「団扇使用」を認めることとする。

宮崎県大会における取扱いについて

団扇の使用が可能な大会

- 宮崎県中学校総合体育大会のみ

【 留意事項 】

- 上記①～⑤を守る。特にラリー中にスタッフ、リザーブ選手が使用しないように心がけること。
- 団扇のサイズについて、規定は設けなくなっているが、宮崎県では、一般的に使用されるものとする。
※ 大きさについて、専門部が判断する時点で使用を認めない場合がある。
- 会場の空調が使用でき、室温によって使用が不必要な場合、認めない場合もある。
- ハンディタイプの扇風機の使用は認めない。拡大解釈は認めない。

※ 上記大会以外の県大会では、原則として団扇の使用は認めない。

【 各地区大会での取扱いについて 】

- 県大会における取扱いは、あくまでも県大会時におけるもので、下記の点に留意すること。
 - ① 各地区で使用判断の基準を設けてもよい。
 - ② いろいろなケースについての対応は、各地区の判断基準内で対処すること。
 - ③ 地区判断で可能でも県大会では不可能な場合があるため、上記県大会の取扱いについては、周知しておくこと。
- あくまでも熱中症対策のための取扱いであることを周知すること。